

# 四万十市産業振興計画定数目標値一覧表

資料 2

定数値連番	到達目標 (定数)	アクションプラン	分野	基準数値 A	基準年	到達目標値 (H31)	H27の実績値 (又は直近値) B	基準値A ⇒ 現在値B	到達目標に 対する 平成28年度の 主な取組
1	産業祭来場者数	【連携AP1】 (1)地域産品の利用促進 【連携AP11】 (2)“食”の発信 【農業AP12】(1)地元消費拡大に向けた取組みの強化 【林業AP20】(3)木造化、木質化への情報発信、普及・啓発の強化 【水産業AP13】(2)ブランド力の強化と販路拡大 【商工業AP4】(4)商品の販路開拓・販売促進 【商工業AP7】(2)地域を拠点とした食の発信 【観光AP4】(4)食の魅力を活かした観光振興	五分 野	2,000人	H25	20,000人	12,500人	↑	○地産外商促進 10月 フェスティバル土佐ふるさとまつり 12月 高知大丸「冬の味覚祭」出店(山間屋ほか) 3月 高知大丸「春の味覚祭」出店(山間屋ほか) ○食の発信・普及イベント等 4月 四万十川花紀行「玖木つつじまつり」 5月 奥屋内天然色堂「山茶つみ体験」 6月 四万十川花紀行「紫陽花まつり」 7月 星の郷西土佐「天の川まつり」 8月 西土佐ふるさと市「夏の感謝祭」 11月 黒尊むらまつり(四万十川花紀行「紅葉まつり」 うまいもの商店街 3月 四万十川花紀行入田ヤナギ林菜の花まつり
2	学校給食への市内農産物 (野菜類)の供給率	【連携AP1】 (1)地域産品の利用促進 【農業AP12】(1)地元消費拡大に向けた取組みの強化 【農業AP16】(1)有機農産物の販路開拓・拡大	農	64.80%	H26	※目標値は、中 学校給食の開 始、実施状況に より後年度にお いて設定	62.60%	↓	○地元農産物の公共施設での利用促進 ・学校給食への農産物供給(環境にやさしい農業の ための研究会)※H28.4月～スクールミールぐどう への農産物供給開始 ・食育の推進(農業収穫体験・野菜勉強会)東山小 学校、東中筋小学校
3	市産材利用促進事業の 着工件数	【連携AP1】 (1)地域産品の利用促進 【林業AP19】(2)木造住宅の建築促進	林	30戸/年	→基準 値は H23～ H26の 平均値	30戸/年	34戸/年	↑	○市産材利用促進事業 年間利用件数見込み:25件(内H27繰越15件) 申請件数見込み:22件 ○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 1月末現在:見学者 152名、宿泊者58組(277名)
4	漁業協同組合の販売機能	【連携AP1】 (1)地域産品の利用促進 【水産業AP12】(1)漁協の販売力の強化	水	/	/	強化	/	—	○漁業協同組合の販売機能の強化 ・四万十川西部漁協「あゆ市場」出店 ・製氷機修繕完了【補助金:182千円】 (事業主体:下田漁業協同組合)
5	商店街通行者数(平日)	【連携AP2】 (2)地域産品の販売拠点づくり 【連携AP10】 (1)“食”文化の磨き上げ 【連携AP11】 (2)“食”の発信 【商工業AP6】(1)四万十の“食”文化の磨き上げ 【商工業AP10】(1)回遊性と集客力向上のための 拠点づくり 【商工業AP11】(2)商店街の機能向上 【商工業AP12】(3)日常の賑わいにつながる仕組みづくり	商	4,725人/日	H22～ H26平 均	4,845人/日	4,591人/日	↓	○旧土豫銀行跡地利用の調査研究 ○地域・まちなか商業活性化支援事業 (実施主体:東下町商店街振興組合) ○おもてなし向上事業【市産振総合補助金活用】 (実施主体:四万十黒潮旅館組合) ・宿泊とのセットプランの造成・販売等 「玉姫様と通行手形」との宿泊セットプラン (宿泊施設15、飲食店33と連携) 「着物で街歩き」との宿泊セットプラン スイーツ券付宿泊プラン など ○食の魅力を活かした地域振興事業 【地方創生加速化交付金を活用】 「四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の 掘起しと磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー 招致等)

定数値連番	到達目標 (定数)	アクションプラン	分野	基準数値 A	基準年	到達目標値 (H31)	H27の実績値 (又は直近値) B	基準値A ⇒ 現在値B	到達目標に 対する 平成28年度の 主な取組
6	農林水産物等直販所 販売額	【連携AP2】 (2)地域産品の販売拠点づくり 【農業AP13】(2)直販機能の強化 【商工業AP18】(3)ビジネスの拠点づくり	農商	11.56億円	H25	13億円	H26: 11.89億 円	↑	○農林水産物直販所「安心係」養成講習会(7月)の実施 (講習内容)情報発信、農産物管理、農薬適正使用、食品表示、 衛生管理
7	道の駅「よって西土佐」 入込客数	【連携AP2】 (2)地域産品の販売拠点づくり 【農業AP13】(2)直販機能の強化 【商工業AP10】(1)回遊性と集客力向上のための 拠点づくり 【商工業AP18】(3)ビジネスの拠点づくり	農商	—	—	13万人	実績なし (H28より)	—	○地域商社「株式会社西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連)の取組み 【地方創生加速化交付金活用】
8	ぶしゅかん新植面積	【連携AP3】 (1)地元農畜産物を使った商品開発 【農業AP1】(1)ぶしゅかんの産地づくり 【農業AP27】(2)適合品目の栽培促進	農	0.9ha	H26	12ha	4.9ha	↑	○ぶしゅかん産地化・普及推進事業【地方創生推進交付金活用】 ・新規定植(苗木代の補助)1,717本 365a(ほ場22カ所)、【H28年度末 4,226本】 ・有害鳥獣防護柵(設置への補助)1,318m(8カ所) ○四万十ぶしゅかん生産者組合の設立(組合員数22名うち団体2) ○ぶしゅかん集出荷支援 【地方創生推進交付金活用】 (実施主体: 四万十ぶしゅかん生産者組合) 集出荷支援(人件費等への補助)、出荷基準検討会の実施 ※収穫体制として多機能事業所「アオ」と連携
9	ぶしゅかん生産量	【連携AP3】 (1)地元農畜産物を使った商品開発 【農業AP1】(1)ぶしゅかんの産地づくり	農	13t	H26	54t	16t	↑	○生産体制及び衛生管理体制の強化 【市産振総合補助金(地方創生推進交付金を活用)】 (実施主体: 四万十ぶしゅかん株) 集荷・搾汁工場、資材倉庫施設整備、加工設備等機材導入 ○ぶしゅかん産地化・普及推進事業【地方創生推進交付金活用】 8月 四万十ぶしゅかんPR活動 9月 ぶしゅかん青玉キャンペーン
10	ゆず栽培面積	【連携AP3】(1)地元農畜産物を使った商品開発 【農業AP2】(2)ゆずの産地化促進 【農業AP27】(2)適合品目の栽培促進	農	42.5ha	H26	42.5ha(維持)	42.5ha	→	○水田転換ゆず定例会の実施(4月～7月) 栽培管理指導、出荷検討(対象農家: 9戸) ○ゆず加工品の販売促進(イベント・商談会等への出展) (事業主体: JA高知はた)
11	ゆず生産量	【連携AP3】(1)地元農畜産物を使った商品開発 【農業AP2】(2)ゆずの産地化促進	農	445t	H26	445t(維持)	310t	↓	○四万十ゆず」の地域団体商標登録に向けた取組みの推進 (事業主体: JA高知はた※H29年度出願予定)
12	栗栽培面積	【連携AP3】(1)地元農畜産物を使った商品開発 【農業AP3】(3)栗の産地再生	農	39.5ha	H26	47ha	41.59ha	↑	○中山間地域集出荷支援事業【地方創生推進交付金活用】 (実施主体: JA高知はた) 6月～ 栗をはじめ園芸作物等の集出荷を円滑に推進 7品目 1月～ 新改植(苗木代の補助) 1,200本 3.0ha 縮間伐作業(人件費等の補助) 1.2ha ○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 【市産振総合補助金(地方創生推進交付金を活用)】 (事業主体: 株式会社しまんと美野里)
13	栗生産量	【連携AP3】(1)地元農畜産物を使った商品開発 【農業AP3】(3)栗の産地再生	農	15.1t	H26	60t	22.1t	↑	9月～ 集出荷支援 2.0t、作業道整備 400m 獣害対策網設置 1.0ha 1月～ 縮間伐等作業 4.0ha 2月～ 新改植作業 4.75ha

定数値連番	到達目標 (定数)	アクションプラン	分野	基準数値 A	基準年	到達目標値 (H31)	H27の実績値 (又は直近値) B	基準値A ⇒ 現在値B	到達目標に 対する 平成28年度の 主な取組
14	四万十農法米栽培面積	【連携AP3】(1)地元農畜産物を使った商品開発 【農業AP14】(1)ブランド化の推進	農	—	—	20ha	4戸 120.0a (1.2ha)	↑	○「四万十農法米」の推進【地方創生推進交付金活用】 ・40010日プロジェクトの実施(販売促進活動、商標登録等) ・生産拡大にむけた取組み
15	四万十農法米生産量	【連携AP3】(1)地元農畜産物を使った商品開発 【農業AP14】(1)ブランド化の推進	農	—	—	88.4t	4.92t	↑	
16	一次産品等を活かした 新商品の開発	【連携AP3】(1)地元農畜産物を使った商品開発 【連携AP5】(3)水産物の高付加価値化 【連携AP6】(4)地域資源を活かした商品開発 【農業AP15】(2)地元農畜産物を使った商品の開発・販売 【水産業AP11】(2)新たな商品開発 【商工業AP2】(2)魅力ある素材・アイデアの掘起し 【商工業AP3】(3)新たな特産品等の商品開発	農水商	—	—	157アイテム	25アイテム	↑	○地域の頑張る人づくり事業 (事業主体:四万十市地域商品研究会) ・マーケティングや販路開拓等に関する研修を行い効果的な 外商活動を企画・展開できる人材育成を図る。(実績7回) 【再掲】 ○地域商社「株式会社西土佐ふるさと市」を核とした地域創成事業 (道の駅「よつて西土佐」関連) 【地方創生加速化交付金活用】 ・道の駅地域産品開発等特別対策事業 食品加工開発等支援(事業実施4件) ・新商品開発、ブラッシュアップ、テストマーケティング WSを3回実施し、2月に松山市大街道及びよつて西土佐まつや ま でテストマーケティングを実施 ・百貨店バイヤー等招致研修会 【再掲】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 【地方創生加速化交付金活用】 「四万十の食研究会」を設立し、地域の食材、食文化の 掘起しと磨き上げ、「四万十の食」の開発(アドバイザー) ○四万十餃子企画開発・販路開拓事業【市産振総合補助金活用】 (事業主体:旬和) 地域の素材を使った新商品の開発に併せ、商品ロゴやパッケージ等 を 一新し、デザインの統一感を出すことで商品の訴求力を向上させる。 ○地元素材を活用した新商品開発・販促事業 【市産振総合補助金活用】(実施主体:WANLIFE) 地域の素材にこだわった安全安心で、付加価値の高い ベトナムの新商品やギフトセットを開発 ○地域のグループとの意見交換会等 地域の情報発信や商品開発等に向けた取組について 総合的な支援策等を検討(片魚、三ツ又、大屋敷地区) ○幡多広域地産外商推進協議会 幡多6市町村で5月に協議会を新設し、共同で外商活動を を展開
17	木材・木製品製造品出荷 額等	【連携AP4】(2)四万十ヒノキ製の商品力強化 【林業AP13】(1)木材製品の生産の拡大・商品力の強化 【林業AP14】(2)木工製品の生産の拡大・商品力の強化 【林業AP24】(2)四万十ヒノキ製品の生産拡大、 商品力の強化	林	7.5億円	H24	8億円	H25:7億9,477 万円 H26:8億3,330 万円	↑	

定数値連番	到達目標 (定数)	アクションプラン	分野	基準数値 A	基準年	到達目標値 (H31)	H27の実績値 (又は直近値) B	基準値A ⇒ 現在値B	到達目標に 対する 平成28年度の 主な取組
18	体験・宿泊等のプラン 造成件数	【連携AP7】(5)滞在型の観光商品づくり 【水産業AP16】(1)魅力ある体験商品づくり 【観光AP3】(3)新たな観光商品づくり	水観	—	—	107アイテム	37アイテム	↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光動向等アンケート調査</li> <li>・観光案内所(観光協会)窓口で外国人観光客へのアンケート調査</li> <li>・5月(GW)・8月(お盆) 佐田沈下橋で観光動向アンケート調査</li> <li>○西土佐観光推進協議会 観光プログラムの検証等 観光クラスター事業(サイクリング周遊等)の協議</li> <li>○川漁体験学習等 種苗放流体験、四万十川ガキ体験、親子川漁体験、アユのしゃくり漁体験</li> <li>○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 【地方創生加速化交付金活用】 (事業主体: 幡多広域観光協議会)</li> <li>・教育旅行用川漁体験プログラム</li> <li>・一般旅行用サイクルナビシステム開発</li> <li>・土佐の観光創生塾を通じた観光商品造成(3回)</li> <li>○志国高知幕末維新博に向けた取組み(H29.3開幕) 四万十市観光クラスター協議会開催</li> <li>・博覧会の取組みを通じて磨き上げた歴史資源と地域の「食」や「自然」など一体となった周遊コース等を整備</li> <li>○体験メニューの磨き上げ・開発 アドバイザー(県観光アドバイザー)招致 滞在型観光メニュー開発ワークショップ開催</li> <li>○インバウンドどんこ来い! 四万十市国際ナショナル 田舎体験プログラム【市産振総合補助金活用】 (実施主体: ㈱ソーラーファーム)</li> <li>急増傾向にある、東南アジアを中心とした外国人観光客をターゲットとした田舎暮らし体験プログラムを試行実施</li> <li>○インバウンド(外国人観光客)受入体制向上事業 (事業主体: 四万十市観光協会) 着物レンタル(呉服店と連携)による小京都中村の「街歩き」体験メニュー着用で街歩きプラン (KIMONOLOILOI)の販売</li> <li>○おもてなし向上事業【市産振総合補助金活用】 (実施主体: 四万十黒潮旅館組合) 宿泊とのセットプランの造成・販売等 外国人観光客向けに各宿泊施設の館内案内と 食事メニューの多言語化(英語、中国語、韓国語など)</li> </ul>
19	広域における一般観光客数	【連携AP7】(5)滞在型の観光商品づくり 【観光AP5】(1)広域連携による周遊観光の推進	観	—	—	53,750人増	広域における 取組 H27～	—	
20	広域におけるスポーツ客数		観	—	—	10,000人増	広域における 取組 H27～	—	
21	広域における外国人 述べ宿泊数		観	—	—	13,300人泊	広域における 取組 H27～	—	
22	広域組織における 5つの機能  ①商品の企画・立案 ②商品の造成、販売、 取扱 ③広報、情報発信、窓口 ④地域の人材育成 ⑤観光産業化		観	—	—	1強化	/	—	

定数値連番	到達目標 (定数)	アクションプラン	分野	基準数値 A	基準年	到達目標値 (H31)	H27の実績値 (又は直近値) B	基準値A ⇒ 現在値B	到達目標に 対する 平成28年度の 主な取組
23	商談会等での商談件数	【連携AP8】(1)地域産品の発信と販路開拓・拡大 【農業AP15】(2)地元農畜産物を使った商品の開発・販売 【商工業AP4】(4)商品の販路開拓・販売促進	農商	108件/年	H26	150件/年	134件	↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地産外商促進の取組み 地元物産の県外へのPR・販促活動 産地視察型商談会への参加 県内外のイベントや物産展等への出店</li> <li>○特産品等販売促進事業 【市産振総合補助金(地方創生推進交付金を活用)】 (実施主体:四万十市地域商品研究会) 11月 海外でのフェア出展(高知県物産展in台湾)2業者出展 2月 グルメ&amp;ダイニングスタイルショー(東京ビックサイト)3業者出展 スーパーマーケットトレードショー(幕張メッセ) 3業者出展</li> <li>【再掲】</li> <li>○四万十市特産品販路拡大事業【市産振総合補助金活用】 (実施主体:しまんと百笑かんぱに(株)) 9月 ROOMS33(東京)出展</li> <li>【再掲】</li> <li>○四万十餃子企画開発・販路開拓事業【市産振総合補助金活用】 (事業主体:旬和) 10月 第5回土佐っておいしい!食の大商談会(東京) 11月 第8回土佐の宴~高知家の食卓~(大阪) 外食ビジネスウィーク2016(九州)</li> <li>【再掲】</li> <li>○地元素材を活用した新商品開発・販促事業 【市産振総合補助金活用】(実施主体:WANLIFE) 9月 ペット博(大阪会場)に出展 10月 ペット博(広島会場)に出展 1月 ペット博(横浜会場)に出展</li> </ul>
24	観光協会ホームページ アクセス数	【連携AP9】 (2)観光商品のセールス・情報発信 【観光AP7】(2)広報・プロモーションの強化	観	119,577件	H26	150,000件	137,953件	↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>【再掲】</li> <li>○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光連携推進 事業【地方創生加速化交付金を活用】 (事業主体:幡多広域観光協議会) ・商談会(13回239社)、旅行会社・学校訪問(14回122社・校) ・体験予約(福利厚生サイト)を活用した誘客促進 ・ガイドブック(11万冊)、HP(14万ページビュー)、デジタルサイネ ージ(17ヶ所)等によるPR情報発信 ・広告(雑誌、テレビ)等による情報発信 ・HAPPYはたっぴーキャンペーンの展開 ・土佐くらしお鉄道と連動したインバウンド向けパンフ作成作業 ・スポーツツーリズムポータルサイトの構築 ・幕末維新博に向けた幡多広域観光協議会HPの見直し</li> <li>○観光客誘致宣伝活動実績 県外旅行者、学校等への誘致活動 6月 岡山方面 11月 関西方面</li> <li>○観光大使設置 ・国内外への幅広い情報発信力を活かした広報活動を 展開 委嘱状況:2月末現在・・・17名委嘱</li> <li>○四万十市誘客用プロモーションビデオの製作 【地方創生企業版ふるさと納税活用】 3月 完成動画披露会(天神橋商店街、道の駅よって西土佐)</li> </ul>

定数値連番	到達目標 (定数)	アクションプラン	分野	基準数値 A	基準年	到達目標値 (H31)	H27の実績値 (又は直近値) B	基準値A ⇒ 現在値B	到達目標に 対する 平成28年度の 主な取組
25	1人当たりの観光消費額	【連携AP11】 (2)“食”の発信 【観光AP4】(4)食の魅力を活かした観光振興	観	14,700円	H26	18,150円	13,939円	↓	【再掲】 ○食の発信・普及イベント等 4月 四万十川花紀行「玖木つつじまつり」 5月 奥屋内天然色堂「山茶つみ体験」 6月 四万十川花紀行「紫陽花まつり」 7月 星の郷西土佐「天の川まつり」 8月 西土佐ふるさと市「夏の感謝祭」 11月 黒尊むらまつり(四万十川花紀行「紅葉まつり」 うまいもの商店街 3月 四万十川花紀行入田ヤナギ林菜の花まつり 【再掲】 ○おもてなし向上事業【市産振総合補助金活用】 (実施主体:四万十黒潮旅館組合) 宿泊とのセットプランの造成・販売等 外国人観光客向けに各宿泊施設の館内案内と 食事メニュー の多言語化(英語、中国語、韓国語など)
26	環境保全型農業直接支援 隊対策事業参加経営面積	【農業AP6】(2)環境保全型農業の推進	農	21ha	H26	30ha	19.4ha	↓	○化学肥料に頼らない土作りのため、市内の家畜ふん堆肥や 有機物堆肥の施用にかかる経費やその散布を支援し、循環 型農業を推進(有機農業等総合支援事業) ○化学肥料、農業を使用しない取組み又は5割以上低減し、環 境保全に効果の高い営農活動を支援(環境保全型農業直接 支払交付金事業) ○環境保全型農業を実践する農業者の育成、技術・機械導入 経費への支援(環境保全型農業推進事業補助金)
27	環境保全型農業推進事業 実施経営体数		農	11戸	H26	15戸	26戸	↑	
28	次世代施設園芸等への 誘致企業数	【農業AP7】(3)次世代型こうち新施設園芸システムの 普及推進 【商工業AP20】(2)誘致活動の推進	農商	—	—	1社	実績なし	—	○環境制御技術導入加速化事業 (炭酸ガス施用装置等導入への支援) 対象農家7件 面積:153a 品目:ピーマン7件、きゅうり2件、大葉1件
29	環境制御装置導入農家数	【農業AP7】(3)次世代型こうち新施設園芸システムの 普及推進	農	—	—	20戸	8戸	↑	
30	集落営農組織数	【農業AP8】(1)集落営農の組織化、法人化の支援	農	20組織	H26	25組織	29組織	↑	○組織化への誘導・支援 ・地区座談会開催(12回)、集落座談会(須崎、津野川)の実施 ・集落営農研究会の開催(中村地域) ・先進地視察(黒潮町・須崎市、愛媛県西予市2組織) ○既存組織へのフォローアップ ・事業導入や法人化に向けた勉強会の開催(4組織延べ17回) 組織別座談会(中村地域) 集落営農組織連絡協議会の開催(中村地区・西土佐地区)
31	農業経営を行う法人数		農	2法人	H26	9法人	5法人	↑	
32	無料職業紹介所	【農業AP10】(1)農作業支援体制の充実	農	1箇所	H26	2箇所	1箇所	→	○農作業支援隊による農業労働力確保事業 【市産振総合補助金(地方創生推進交付金を活用)】 (実施主体 JA高知はた) 無料職業紹介:求職者数60、求人数48、マッチング件数40

定数値連番	到達目標 (定数)	アクションプラン	分野	基準数値 A	基準年	到達目標値 (H31)	H27の実績値 (又は直近値) B	基準値A ⇒ 現在値B	到達目標に 対する 平成28年度の 主な取組
33	生産・出荷支援システム 取組件数	【農業AP11】(2)集出荷支援体制の充実	農	5件	H26	5件	5件	→	○中山間地域生活支援総合事業(富山地域) 農産物の集出荷や生活支援にかかる人件費、燃料費等への支援 ○ぶしゅかん集出荷支援(中村地区) 【再掲】○粟をはじめとする園芸作物等の集出荷支援 (西土佐地区:実施主体 JA高知はた) 【再掲】○粟の集出荷支援 (西土佐地区:実施主体 株式会社と美野里)
34	有機農業等総合支援事業 実施面積	【農業AP17】(2)有機農業の普及・啓発活動の推進	農	11.5ha	H26	12.0ha	18.8ha	↑	○環境にやさしい農業のための研究会との連携協議の実施 構成:生産者等、市、JA高知はた、県農業振興センター、 県西部家畜保健衛生所 ○化学肥料に頼らない土作りのため、市内の家畜ふん堆肥や 有機物堆肥の施用にかかる経費やその散布を支援し、循環 型農業を推進(有機農業等総合支援事業)
35	新規就農者数	【農業AP18】(1)新規就農者の研修支援 【農業AP19】(2)新規就農支援体制の拡充 【農業AP20】(3)移住促進による新規就農支援	農	—	—	3人/年	3人/年	↑	○新規就農研修支援事業(研修生の受け入れ)の実施 農家(3名)、四万十農園あぐりっこ(1名)、西土佐農業公社(2名) ○農地の斡旋 空ハウスの情報提供等 ○就農相談・経営安定化支援の実施 東京、大阪での新農業人フェア出展 就農支援チームによるトータルサポート ○新規就農者へのレンタルハウス整備事業による支援 ○経営が不安定な就農初期段階の青年就農者への経営支援 (就農給付金)
36	認定農業者数	【農業AP21】(1)認定農業者制度の周知強化 【農業AP22】(2)認定農業者等のフォローアップの強化	農	127人	H25	150人	135人	↑	○人・農地プラン地区座談会等で中心経営体の経営状況を把握 し、誘導 ○再認定者の農業経営改善計画作成支援にあわせて可能性の ある農家を個別に誘導 ○新規就農者への制度説明を随時実施 ○再認定者の農業経営改善計画作成支援 ○H26新規認定者と個別に面談 ○税理士による経営研修会・納税相談会開催
37	ほ場整備実施面積	【農業AP25】(3)基盤整備の推進	農	973ha	H26	1,014ha	978.5ha	↑	○ほ場整備工事 入田地区 A=10.4ha、排水ポンプ施設4か所 整備 利岡地区 地形図作成 三里地区 実施設計委託
38	中山間地域直接支払制度 の実施農地面積	【農業AP26】(1)耕作放棄地の再生及び発生防止対策	農	461.6ha	H26	461.6ha (維持)	458.3 ha	↓	○農地利用意向調査による再生地情報の取得 ○農業の有する多面的機能の発揮のための地域活動や営農 の継続等に対する支援を実施
39	多面的機能支払制度の実 施農地面積		農	1513t	H26	1513t (維持)	1,653 ha	↑	

定数値連番	到達目標 (定数)	アクションプラン	分野	基準数値 A	基準年	到達目標値 (H31)	H27の実績値 (又は直近値) B	基準値A ⇒ 現在値B	到達目標に 対する 平成28年度の 主な取組
40	「森の工場」の認定面積	【林業AP2】(2)計画的な森林管理・経営の促進 【林業AP3】(3)提案型集約化施業の推進	林	3,586ha	H26	4,000ha	3,834ha	↑	○造林補助事業等により施業をした森林の森林簿のデータ修正・管理 ○森林経営計画の作成や森林施業の集約化に必要な森林情報の収集、境界確認等の諸活動に対する支援の実施。 ○林業事業体等が森林経営計画を作成し経営類型を明確化 ○森林組合、林業事業体で森林所有者へのアプローチ・啓発を行い、提案型集約化施業への地権者合意形成を推進 ○森林経営計画の作成や森林施業の集約化に必要な森林情報の収集、境界確認等の諸活動に対する支援の実施。 ○成熟しつつある人工林資源を利活用するために、森林の集約化に係る取組を推進(森の工場)
41	原木生産量	【林業AP7】(1)森林の特性に応じた皆伐、間伐の実践	林	47,000m <sup>3</sup>	H24	60,000m <sup>3</sup>	H25: 75,573 m <sup>3</sup> H26: 93,790 m <sup>3</sup>	↑	○市有林整備事業 搬出間伐: 16.5ha 保育間伐: 38.6ha ○緊急間伐総合支援事業 公益林保全整備(搬出間伐): 9.28ha 森林整備支援(搬出間伐): 4.43ha ○環境林整備事業(組合等が県へ直接申請): 67.3ha
42	作業道開設実績延長累計	【林業AP8】(2)施業の効率化と低コスト化	林	709,795m	H25	790,000m	H26: 739,719m	↑	【再掲】○市有林整備事業 作業道整備: L=5,060m 【再掲】○緊急間伐総合支援事業 作業道整備: L=1,700m ○ふるさと暮らし支援事業(作業道の改良・舗装) ○林道・作業道維持補修
43	シカの捕獲頭数	【林業AP9】(3)低コスト再造林、育林の実践 【林業AP26】(1)鳥獣被害対策 【林業AP27】(2)捕獲の担い手確保、育成	林	4,446頭	H26	6,000頭	4,055頭	↓	○防護柵の設置 ○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 ○新規狩猟者の確保 市広報によるPR、講習会等の受講料補助
44	新規林業就業者数	【林業AP10】(1)林業事業体及び林業技術者の育成支援	林	—	—	3人/年	7人/年	↑	○「緑の雇用」事業の活用 ○林業技術研修の実施(主催: 幡多流域林業活性化センター) ○新規採用職員(3名)の現地指導研修の実施 【市産振総合補助金活用】(事業主体: 中村市森林組合) ○「環境林整備事業」への新規取組みなど、積極的な制度事業の活用による事業量(収益)の確保
45	市産材製品ストック施設整備	【林業AP15】(1)市産材製品ストック施設整備	林	—	—	整備		—	
46	特用林産物(しいたけ、木炭)生産量	【林業AP28】(1)特用林産物の生産活動の支援とPR	林	48,466kg	H25	55,000kg	H26: 29,784kg	↓	○四万十備長炭事業化への取り組み

定数値連番	到達目標 (定数)	アクションプラン	分野	基準数値 A	基準年	到達目標値 (H31)	H27の実績値 (又は直近値) B	基準値A ⇒ 現在値B	到達目標に 対する 平成28年度の 主な取組
47	内水面漁業漁獲量	【水産業AP2】(2)生育・漁場環境の保全・整備 【水産業AP4】(2)アオサの生産拡	水	56t	H24	65t	H25:66t H26:65t	↑	○高知大学連携事業による調査等 【地方創生加速化交付金活用】 (事業主体:四万十市・高知大学連携事業推進会議) ・天然スジアオノリ生産量アップの取組み ・天然アユの資源回復の取組み  ○国土交通省・四万十川自然再生協議会による河川整備 ・四万十川自然再生事業 アユの瀬づくり、魚のゆりかごづくりを推進
48	海面漁業漁獲量	【水産業AP2】(2)生育・漁場環境の保全・整備	水	30t	H24	35t	H25:24t H26:22t	↓	○四万十川漁業振興協議会 栽培環境調査(水温、塩分濃度の計測) 10月～ ヒトエグサ漁場2カ所に10分毎に水温塩分を測定する 自記式水温塩分計を設置
49	内水面・沿岸資源の種苗放流	【水産業AP3】(1)効果的な種苗放流の推進	水	—	—	維持	維持	→	○漁協への稚魚放流支援 稚アユ等放流補助金、ヒラメ稚魚放流補助金
50	スジアオノリ自然栽培生産量	【水産業AP5】(3)スジアオノリの栽培技術の研究と実践	水	—	—	5t	実績なし (H28より)	—	○産学官連携スジアオノリ自然栽培(養殖)推進事業 【地方創生加速化交付金活用】 (事業主体:四万十市・高知大学連携事業推進会議 四万十川下流漁業協同組合) ・種付け施設指導・整備 ・自然栽培事業調査(実施主体:四万十川下流漁業協同組合) 浮かし網による自然栽培の実践
51	漁業体験研修の受講者数	【水産業AP9】(2)新規就業者のための研修・フォローアップ	水	—	—	H27～31の5年 間で3人	実績なし	—	
52	施設の長寿命化・南海地震対策	【商工業AP9】(1)施設の長寿命化・南海地震対策の強化 による建設事業の確保	商	—	—	1強化	/	—	○公共施設の長寿命化・耐震化対策 ○住宅耐震診断・住宅耐震改修補助等の実施
53	住宅耐震化率		商	64.1%	H26	73.5%		65.66%	
54	商店街空き店舗対策補助件数	【商工業AP12】(3)日常の賑わいにつながる仕組みづくり 【商工業AP13】(4)空き店舗対策	商	2件/年	H26	5件/年	4件/年	↑	○商店街活性化事業 (事業主体:各商店街振興組合) 中心市街地活性化に資する事業(夜市などのイベント)へ支援 ○空き店舗対策事業 空き店舗入居者に対する店舗改修費の支援・・・H28申請なし
55	創業に関する相談件数	【商工業AP14】(1)経営指導などサポート体制の強化 【商工業AP15】(2)創業や経営革新に意欲ある事業者(人材)の育成、スキルアップ	商	8件/年	H26	45件/年	38件/年	↑	○各種スキルアップ研修等への参加 (実施主体:中村商工会議所) 随時 基礎・応用能力研修会等への会員の受講を促進 ○チャレンジショップ事業 (事業主体:天神橋商店街振興組合) 毎月チャレンジャーの売上実績と課題に対する改善等についての意見交換会(運営会議)を実施

定数値連番	到達目標 (定数)	アクションプラン	分野	基準数値 A	基準年	到達目標値 (H31)	H27の実績値 (又は直近値) B	基準値A ⇒ 現在値B	到達目標に 対する 平成28年度の 主な取組
56	シェアオフィスへの誘致企業数	【商工業AP19】(1)誘致に向けたリサーチの徹底 【商工業AP20】(2)誘致活動の推進 【商工業AP21】(3)遊休施設等を活用したシェアオフィス等の整備	商	—	—	2社	実績なし	—	○企業誘致対策 ・県と連携した誘致企業の情報収集、アプローチ 高知市内の誘致企業を訪問し、誘致に当たっての課題や雇用確保策について聞き取りを行う。 ○市内の遊休公共施設等についてシェアオフィスの立地可能性調査を実施 中村地域の小中学校舎5箇所を現地視察 西土佐地域の遊休公共施設を現地視察、土佐清水市シェアオフィスの視察
57	既誘致企業での雇用者数	【商工業AP20】(2)誘致活動の推進	商	—	—	20名増	20名	—	
58	公共観光施設等利用者数	【観光AP8】(1)四万十川流域観光の拠点施設の整備、機能強化	観	172,370人	H26	180,000人	189,788人	↑	○四万十川観光遊覧船案内放送の多言語化 (実施主体:四万十川観光遊覧船連絡協議会) ・外国人観光客への案内機能の向上 ○観光拠点整備事業 ・四万十川学遊館展示パネルリニューアル ・トンボ公園樹木札整備 ○四万十サイクルロード整備 【地方創生企業版ふるさと納税活用】 サイクルロードの路面整備や景観を阻害する樹木の伐採等 ○街歩き観光案内看板設置 ・グランドデザインによる街歩き看板の設置 市街地史跡巡り等案内看板設置(21基) 観光誘導看板設置(17基)
59	二次交通利用者数	【観光AP9】(2)二次交通の充実	観	5,718人	H26	10,000人	5,896人	↑	○四万十川バス運行 4月～9月 中村駅～江川崎駅間(114日間運行) 10月～3月 中村駅～江川崎駅間(12月を除く72日間運行) 宿泊とのセットプランの造成・販売 ○しまんと・あしずり号の運行 4月～9月 ・あしずりコース:四万十市～土佐清水市間(68日間運行) ・江川崎コース:中村駅～江川崎駅間(65日間運行) 3月・江川崎コース:中村駅～江川崎駅間(8日間運行)
60	外国人観光客入込客数	【観光AP10】(3)周遊しやすい環境の整備	観	1,341人	H26	5,000人	1,971人	↑	V
61	体験型観光受入研究会加入団体数	【観光AP15】(1)地域の観光リーダーの育成	観	23団体	H26	30団体	23団体	→	○「全国ほんものフォーラムin福島」大会参加 11月 大会参加を通じ、全国の先進事例を学ぶとともに体験メニューの磨き上げ、人材育成にもつなげる(7人参加) ○観光ガイドの養成 志国高知幕末維新博に合わせ観光ガイド養成講座の開催 2月～ 計4回

↑	34(H26以前の結果7件含む)
→	5
↓	9
—	13(未実施等含む)